

## 【会議録】

### 主 題 令和4年度 第1回つくばみらい市地域公共交通会議

- 日 時：令和4年4月28日（木） 午後2時～午後3時25分
- 場 所：つくばみらい市役所谷和原庁舎 2階 会議室 1、2
- 出席委員：秋山義継会長、古谷隆夫副会長、武藤成一委員、田中正利委員、富山和之委員、服部 透委員、國下裕司委員、仲野俊二委員、中村 浩委員（代理：富山勝彦氏）、野村俊光委員、海老原弘委員、下鳥百合子委員、島崎邦雄委員、池田和美委員、神達隆樹委員（代理：小島 隆氏）、渡来真一委員（代理：岡田卓也氏）、伊藤和浩委員 以上19名
- 欠席委員：川上敬一委員、小川一成委員、山野井周一委員、松本譲二委員、東ヶ崎祐二委員、北澤盛次委員 以上6名
- 事務局：都市建設部 飯泉部長  
都市計画課 成嶋課長、藤倉課長補佐、堀越係長、岩上主事
- 傍聴人：1名

- 次第
  - 1 開会
  - 2 委嘱状交付
  - 3 会長あいさつ
  - 4 議題  
報告事項
    - (1) 令和3年度 利用実績について
    - (2) 地域公共交通計画の策定について
  - 5 閉会

#### ●会議要旨 議題

##### 報告事項

- (1) 令和3年度 利用実績について
  - ・令和3年度におけるコミュニティバス・筑波学園病院 病院バス・J Aとりで総合医療センター 病院バス実証運行・デマンド乗合タクシーの利用実績について報告した。
- (2) 地域公共交通計画の策定について
  - ・今年度策定予定の地域公共交通計画の策定スケジュール等について報告した。

#### ●会議録

- 1 開会（午後2時10分）
- 2 委嘱状交付
  - ・人事異動により、新しく委員になられた方に委嘱状を交付した。
- 3 会長あいさつ
- 4 議題  
報告事項
  - (1) 令和3年度 利用実績について
    - ・令和3年度におけるコミュニティバス・筑波学園病院 病院バス・J Aとりで総合医療センター 病院バス実証運行・デマンド乗合タクシーの利用実績について報告した。

【質疑等】

委員意見：利用者数の推移ということでご説明いただいたが、つくばみらい市としてはコミュニティバス等の利用者を増やしていくということを目指しているのだろうか。ルート毎に目標があるのか、再編してもっと合理化していきたいのか、明確な目標があれば教えていただきたい。

事務局：ルート毎に明確な目標はないが、全体的な利用者数を増やしていきたいと考えている。その中で、ルート毎に利用状況を把握し、どのようにしていけば利用者を増やしていけるかの判断材料の1つしていきたいと考えている。

会長：さまざまな交通資源がある中で、それらを上手に組み合わせることで、できるだけ各地域の特性に合わせた交通手段を提供していかなければならない。実績の報告をいただいたが、今後はある程度目標をもってやっていかなければならない。ご存知のとおり、交通サービスは即時材であり、利用されなければ無駄になってしまう。データをとりながら利用者の皆様が納得のできる最適な交通網を整備していってもらいたい。つくばみらい市も合併してできた市であり、各地域の違いから様々な要望があるが、便数やルートの問題を説明していきたいと考えているのでご理解いただきたいと思う。

委員意見：コミュニティバスの利用に関連したことなのだが、コミュニティバスを利用してきらくやまへ行き、色々な活動をするというコミュニティサロンを立ち上げた。具体的な活動の内容としては、サロンメンバーの持ち味をいかして踊りをやったり、こういうご時世なので皆で集まって話し合いの場を作ったりしている。現在、谷井田を中心に立ち上げたが、小絹や谷原の地区の方にも広げたいと考えている。最初の集まりには市長にもご参加いただき、こういう活動を是非続けてほしいと言っていた。現在、きらくやまへいくコミュニティバスの本数が少なく色々な形で活動の方法を模索しているが、このような輪を広げたいと思っている。

会長：今、委員のお話にもあったとおり、便数の問題は必ずでてくる。その点については利用者、運行事業者、行政で調整をしていきたいと考えている。現在どの自治体においても高齢化が進んでおり、公共交通を利用して高齢者の方の活動の場を広げるということは非常に重要である。今、つくばみらい市にはどのような交通体系があるか情報発信を強化していくことが大事だと考えている。また、他の自治体ではAIタクシーが整備されるなど、交通資源は日々変化していく。時代の流れ、地域の皆さんの要望も踏まえてより利用者にとって質の高い交通体系を整備できるよう、この会議の中でも検討していきたいと考えている。

委員意見：昨年度開所したみらい平市民センターにも新たにバス停を設置したと思うが、今回の利用実績には反映しているだろうか。

事務局：今回の利用実績報告では、みらい平市民センターに設置したバス停の利用状況も反映した実績をご報告させていただいている。昨年度は利用実績が他のバス停に比べて少なかったため、資料のなかでは少し見づらくなってしまっている。

委員意見：みらい平市民センターの会議室は人気と聞いている。ただ、PTAやボランティアの集まりでよく使われているようで、昼間より夜間の利用が多いと聞いている。

会長：様々な質問が出たが、利用度を正確に整理しながら、無駄のないサービスの提供、行政としては利用可能性をどこまで負担できるのかを考えていかなければならない。全ての方に満足していただけるのは難しいということをご理解いただきながら、今後も様々な意見をいただけたらと思う。

(2) 地域公共交通計画の策定について

- ・今年度策定予定の地域公共交通計画の策定スケジュール等について報告した。

【質疑等】

委員意見：計画策定のスケジュールについてご説明いただいたが、策定の方法としては、まずコンサルを選定し、利用者と市民にアンケート調査をする。そのアンケート結果を分析し計画の基礎とすると思うのだが、アンケート調査の集計から素案の作成まで事務局とコンサルが主体となって行うという考えでよろしいか。

事務局：アンケートの集計結果をこの会議にご報告させていただくとともに、素案については事務局（案）をコンサルと作成させていただく。内容についてはこの会議にてご審議いただき、委員の意見を取り込みながらより良い交通計画をつくっていきたいと思っている。委員の皆様にはご協力をいただきたいと思っている。

委員意見：事務局とコンサルだけでなく、事業者なり市民の方などを加えたワーキングチームを立ち上げつつ素案を作成し、会議に上程したほうがより現実的な交通計画が作れると思うので、是非ご検討いただきたい。

会長：今、委員から意見をいただいたが、事業者はもちろん、利用者、行政の間で情報の差があってはならない。アンケート調査では細かい分析を行うが、利用者の世代も違う、属性も違う、それに加え現場に即した情報も交えながら、この会議では大筋の議論をしていただく必要があると思っている。非常に細かいところまでいってしまうと時間のロスにもなってしまふ。最近ではコンサルも色々な自治体で計画を作っているため、つくばみらい市独自の交通計画となるようにやっていただきたい。

5 閉会（午後3時25分）

●配布資料

- 【資料1】 令和3年度 利用実績
- 【資料2】 地域公共交通計画の策定について